

会 議 録

【申請手続き番号4 生涯学習人材バンク講師登録手続】

- 1 会議名 令和2年度第2回市民行政評価委員会
- 2 日 時 令和2年10月21日(水)午後2時25分～2時50分
- 3 場 所 金沢市役所第二本庁舎2203会議室
- 4 出席者
 - (1) 市民行政評価委員会委員
岡田委員長、山口委員、坂下委員、古委員、青海委員
嶋谷委員、須崎委員、八田委員、山田委員、吉本委員
 - (2) 申請手続き担当課(生涯学習課)
山岸課長補佐、小坂係長
 - (3) 事務局(行政経営課)
佐野課長、安藤課長補佐、二木係長、神田主査
- 5 審議内容

評価委員：例えば、登録確認書とともにIDとパスワードを郵送して、返信用封筒での返送のみならず、生涯学習情報ネットワーク上での登録確認・更新・内容変更も選択出来るようにすることは可能か。
(事前質問)

申請担当課：現状のシステムは、利用者が講師情報を「探す」ということを主眼として導入したものである。
したがって、システムの仕様上、管理者以外が講師情報を登録することはできないことから、新たなシステムの導入等が必要となる。

評価委員：私も講師として登録されているが、登録時はやむを得ないと思うが、更新時に、郵送で届いて、赤ペンで修正してまた郵送で返送というのは、非常に手間がかかると感じている。
例えば、メールでWORDファイルを送付してもらい、修正を反映してメールで返信ということを可能にしてもらえば、非常に簡素化できる。登録時にメールアドレスも記載することから、対応可能ではないか。

申請担当課：ご要望があった講師の方には、返信だけでなく送付の際も、ご要望に沿った対応をしていきたいと考えている。

評価委員：私は県の制度に登録されているが、自分の情報を自分で修正できるよう、県に要望しているところである。

申請手続き番号4 生涯学習人材バンク講師登録手続

SDGsの時代であり、紙を郵送でやりとりしているのが変だと感じるくらい状況になってきていることから、オンライン化が難しい方々への配慮は必要だと思うが、オンライン化については賛成であり、少なくとも10年先にはオンラインでの返信が当たり前になっていると思う。

評価委員：登録されている講師は高齢者が多いとのことだが、経験が長いということで高齢者が多くなることも理解はできるが、生涯学習という観点から、もう少し幅広い年齢層で構成できないか。

申請担当課：ご指摘の件については、重々承知した。

評価委員：今回議論しているオンライン化とは、メールでのやりとりということではなく、電子申請システムを活用したオンライン化ということではどうか。

そうであれば、講師が電子申請システムの利用登録を行うことで、講師自身の情報を修正することが可能となるのか。

事務局：例えば、講師一人一人に電子申請システムのIDとパスワードを設定して送付し、講師が電子申請システムにログインした上で自身の情報の登録や修正を申請するようなことも可能である。今後、手続きごとに効率的な方法を検討していきたい。

また、生涯学習情報ネットワーク上で登録や修正を可能とすることが最も効率的だと思うが、多額の費用が予想されることから、電子申請システムを活用して低コストで実現していきたい。

評価委員：生涯学習情報ネットワークは、情報を閲覧するだけで、入力等できない。現状は、講師が郵送する手間と、市が郵送で送付された書類を手入力する手間がかかっている。そのコストと、新システムの導入や改修等のコストを比較するとどうか。

申請担当課：まずは講師登録の情報を充実させ、いかに制度を利用して頂くかが重要だと考えている。生涯学習情報ネットワークは平成12年に導入して時間が経過していることから、システムとしてどのようなカタチが望ましいか、費用面も含め見直しを検討していきたい。